

# 外食業の特定技能外国人受入れ例

# 農林水産省

## 事業者の概要

### 【中華料理店】

- ・ 本社所在地：大阪府
- ・ 店舗数：7店舗（大阪（6）、奈良（1））
- ・ 従業員数：約80人（うち、外国人は約30名）
- ・ 業態：餃子・ラーメン・中華料理店

## 事業者の取組

- ・ 会社として様々な在留資格の外国人を採用し、いくつかのキャリアプランを策定している。
- ・ 外国人には、人手が比較的集まりやすいが繁忙で仕事に追われる都心立地店ではなく、あえて郊外店でしっかり日本語や習慣を身につけてもらいつつ、店では中心スタッフとして働いてもらうことで本人のやる気向上を図る。
- ・ 更に、地方店に外国人を配置することで、地域の人材不足解消も目指している。
- ・ 登録支援機関は利用しておらず、社内管理部門に特定技能外国人の支援体制を構築し、支援業務を実施している。
- ・ 同じ出身国のマネージャーによりアドバイスを受けられるようにすることで、外国人にとって働きやすい体制となるよう心がけている。

## 事業者の評価

- ・ 努力家であり、日本人スタッフに付いてOJTを受け、4か月後には厨房で単独で調理に従事できるまでになっている。
- ・ 接客も笑顔でこなし、お客様からも高い評価を受けている。
- ・ 彼に続く特定技能外国人のよき先駆者として活躍を期待している。

## 特定技能外国人の紹介

### Dさん（男性・26歳・ベトナム出身・2017年来日）

ベトナムの農業大学卒。獣医師免許を所持。  
2017年大阪の日本語学校に留学の後、日本語学校（N4取得）を経て、2019年8月から特定技能で就労。



Dさんが働くお店の外観



厨房に立つDさん

## 本人インタビュー

- Q 特定技能制度を活用し、日本で引き続き働こうと思った理由  
A 日本語学校の修了の時に、学校から特定技能制度が始まったことを教えてもらいました。アルバイトに比べ、安定した収入が得られることが魅力です。
- Q 仕事に対して  
A お客様から直接「おいしかった」と声をかけられるととてもうれしくて、やりがいを感じます。
- Q 将来の夢  
A ベトナムに戻ってレストランを開きたいです。
- Q 日本の生活で困っていること  
A 物価が高いのが悩みです。